

## 防除所レポート

### 近年、ヒメトビウンカに対する本田防除適期が早まっています。 次年度以降の防除計画の参考にしてください。

イネ縞葉枯病は、県西地域を中心に発生が多い状態が続いており、イネ縞葉枯ウイルスの媒介虫であるヒメトビウンカを対象とした防除が行われています。本田での防除適期は、6月のヒメトビウンカの幼虫発生開始期から増加期（産卵最盛日から1週間後までの間）です。この時期の防除は、幼虫の密度抑制効果が高く、イネ縞葉枯病に対する防除効果が高いことがわかっています。

本田防除適期は気象条件によって変わるため、病害虫防除所では、有効積算温度から産卵最盛日を推定し、毎年、5月下旬頃、本田防除適期について情報を発表しています。近年、冬から春にかけて気温が高い年が多く、推定されるヒメトビウンカの産卵最盛日および本田防除適期が早まる傾向があります。そこで、過去20年分のヒメトビウンカの産卵最盛日をまとめましたので、お知らせします。

#### [結果]

- ① 過去20年間の有効積算温度から推定したヒメトビウンカの産卵最盛日は表1の通りである。
- ② ヒメトビウンカの産卵最盛日の平年値は、令和3年においては、3年前と比較して2~3日早く、6年前および9年前と比較して5~6日早い（表2）。本田防除適期は、産卵最盛日から1週間後までの間であるため、産卵最盛日と同様に早まっている。

表1 有効積算温度から推定したヒメトビウンカ（第一世代成虫）の産卵最盛日

	アメダス地点					5地点 平均
	古河	下館	下妻	つくば	土浦	
H14	6/11	6/19	6/17	6/19	6/17	6/16
H15	6/16	6/21	6/21	6/22	6/21	6/20
H16	6/10	6/18	6/17	6/19	6/17	6/16
H17	6/20	6/25	6/25	6/27	6/25	6/24
H18	6/21	6/26	6/25	6/26	6/24	6/24
H19	6/15	6/21	6/20	6/21	6/18	6/19
H20	6/18	6/24	6/23	6/28	6/25	6/23
H21	6/11	6/16	6/15	6/18	6/15	6/15
H22	6/19	6/22	6/22	6/23	6/22	6/21
H23	6/20	6/23	6/22	6/24	6/23	6/22
H24	6/20	6/24	6/22	6/24	6/23	6/22
H25	6/12	6/17	6/15	6/17	6/17	6/15
H26	6/11	6/16	6/15	6/15	6/14	6/14
H27	6/7	6/12	6/11	6/13	6/12	6/11
H28	6/9	6/13	6/11	6/13	6/12	6/11
H29	6/13	6/18	6/16	6/18	6/16	6/16
H30	6/4	6/8	6/7	6/8	6/5	6/6
R01	6/10	6/16	6/14	6/16	6/14	6/14
R02	6/11	6/15	6/14	6/14	6/12	6/13
<b>R03</b>	<b>6/7</b>	<b>6/10</b>	<b>6/9</b>	<b>6/9</b>	<b>6/7</b>	<b>6/8</b>

表2 有効積算温度から推定したヒメトビウンカ（第一世代成虫）の産卵最盛日の平年値

	平年値計算に 使用した年	アメダス地点					5地点 平均
		古河	下館	下妻	つくば	土浦	
H24の平年値	H14~23	6/16	6/21	6/20	6/22	6/20	6/20
H27の平年値	H17~26	6/16	6/21	6/20	6/22	6/20	6/20
H30の平年値	H20~29	6/14	6/18	6/17	6/19	6/17	6/17
<b>R03の平年値</b>	<b>H23~R02</b>	<b>6/11</b>	<b>6/16</b>	<b>6/14</b>	<b>6/16</b>	<b>6/14</b>	<b>6/14</b>

※平年値：その年の前年から過去10年の平均値。R03の平年値は、平成23年から令和2年の10年間の平均値を示す。  
※産卵最盛日から1週間後までの間が本田防除適期である。